



伊豆の国市から、医療・福祉・介護に携わる皆様と共有したい情報を発信します。



COVID-19感染症拡大防止のため、急きよ、中止や延期となる可能性もあります。各種会議等の開催については、各主催者にお問い合わせ下さい。



今月の1枚

地区健康講座が始まりました!

10月18日(火)より、市内の公民館や高齢者温泉施設等にて伊豆の国市地区健康講座が始まりました。今年度は「転倒予防」をテーマに、楽だら転倒予防教室~できることから始めよう!転ばない体づくり~を行っています。

健康講座では、講義と転倒予防体操(①足指、足首運動、②股関節ストレッチ、③もも裏ストレッチ、④体をひねって足を持ち上げる運動、⑤お尻を持ち上げて移動する運動、⑥転倒予防スクワット、⑦横ステップ運動、⑧ふくらはぎの筋力強化、⑨認知課題と有酸素運動を組み合わせる行うコグニラダー)を行っています。

11月も順次各体操教室で実施していきます。コロナ禍で活動が不活発となった体を動かし、フレイルを予防していきましょう。

日	時間	イベント名	場所	主催
1~	体操教室 開催時間	地区健康講座(転倒予防)	体操教室 開催場所	相談センター 0558-76-8010
火~	内容	理学療法士より転ばない体づくりの話と効果的な体操について		参加 要予約
1~	10:00 15:00	子育てサポーター養成講座	大仁庁舎 第3会議室	ファミリーサポートセンター 0558-76-8008
火~	内容	子育て支援する有償ボランティア「ファミリーサポートセンター」のサポーター養成講座。1講座から受講可 8日、9日、17日		参加 要予約
10	16:00 17:00	相談支援事業所部会	大仁庁舎 第3会議室	障がい福祉課 0558-76-8007
木	内容	地域課題の検討		参加 不可
15	15:30 16:30	認知症初期集中支援チーム員会議	大仁庁舎 第1会議室	相談センター 0558-76-8010
火	内容	対象者の支援方法の検討 相談ケースへの助言(認知症サポート医等からの助言が欲しいケースがありましたらご相談ください)		参加 不可
17	17:30 19:00	自主勉強会	大仁庁舎 第3会議室	相談センター 0558-76-8010
水	内容	事例検討:関係関連図から事例を紐解こう!		参加 歓迎
22	10:30 12:00	地域ケア圏域会議	葦山福祉・ 保健センター	相談センター 0558-76-8010
火	内容	精神障害者への支援について、多職種事例検討会を行います。(一般参加はできません)		参加 不可
22	13:30 15:00	JTC会議	大仁庁舎 第1会議室	葦山包括支援センター 055-949-9213
火	内容	自立支援・介護予防の観点から、個別事例への具体的な助言、提案を検討します。事例提供:大仁圏域(大仁包括)		参加 要予約
24	16:00 17:00	相談支援事業所部会	大仁庁舎 第3会議室	障がい福祉課 0558-76-8007
木	内容	地域課題の検討		参加 不可
28	14:00 16:00	壮年塾期ワークショップ	おおとり荘	相談センター 0558-76-8010
月	内容	壮年塾期が活躍するいきいき長寿社会づくりについて		参加 見学可

インフォメーション

● 新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報

- 【3・4・5回目接種】オミクロン株対応ワクチンの接種について
- ・オミクロン株対応ワクチンの接種は、現時点では一人1回となっています。
- ・令和4年10月21日から、オミクロン株対応ワクチンによる追加接種は前回接種からの接種間隔が「5か月以上」から「3か月以上」に変更されてます。
- ・令和4年11月1日から、伊豆の国市の接種会場で使用するファイザーワクチンを、オミクロン株対応(BA.1)から(BA.4・5)に切り替えます。
- その他、詳細につきましてはホームページをご確認ください。

https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/shingai_joho.html →

【問い合わせ先】
伊豆の国市コールセンター
0570-055671(平日8:30~17:15)



- 新型コロナウイルス感染症に関する一般相談窓口の電話番号変更
- ・令和4年11月1日(火)から
- 静岡県新型コロナ療養支援センターで受付
- 電話番号 0120-546-199
- ※土日祝日含む24時間対応



会議名	医療と福祉の多職種勉強会		
日時	2022/10/17	場所	各事業所・自宅/ 大仁庁舎第1.2.5会議
参加者	105 15	端末名	医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネ・介護職員、訪問看護師・医療機関相談員・地域包括・行政他
内容	私/私の職場/私の職種による「まちづくり」の取り組み		
<p>「災害時に誰も取り残さないまちづくり」をテーマにプレーグおおひと深沢施設長からお話を伺いました。今年度最多の105端末（集合会場15名）の皆様に参加していただき、防災に関する意識の高さがうかがえました。</p> <p>フリーディスカッションでは「個別支援計画を専門職と一緒に作成するという視点を学んだ」「自分も被災者になっている中で何ができるのかを考えた」「地域で見守るために普段からつながりづくりを行ってほしい」「単独職種では行えない、各団体・各業種の協力なくして行えない」「皆様のお力をお貸しいただきたい」など活発な意見交換をしました。</p>			
		担当	沖出

実施名	チームオレンジ担当者意見交換会		
日時	2022/10/21	場所	Zoomミーティング
参加者	65名	行政、チームオレンジコーディネーター、認知症地域支援推進員等	
内容	チームオレンジの概要、チームオレンジ等の活動状況についてディスカッション		
<p>認知症サポーターが地域で活動・活躍の場を拓げるための基盤となる「チームオレンジ」の体制整備を進めるため、市町担当者との意見交換を行いました。市内にいる、多くの認知症サポーターの活躍の場を拓げ、認知症になっても住みやすい地域を目指し、体制づくりをしていきます。</p>			
		担当	芦澤

会議名	地域包括支援センター主催事例検討会		
日時	2022/10/20	場所	葦山福祉・保健センター
参加者	約22名	市内ケアマネ、包括職員、相談センター職員、法テラス弁護士（アドバイザー）	
内容	ケースの対応力を強化しよう		
<p>アドバイザーに法テラス沼津法律事務所から吉田朋師弁護士、大島稔也弁護士をお迎えし、グループで事例検討を行いました。「あるある困難事例」でグループ検討は大変盛り上がり、多くの意見が出ました。講評では、本人・家族の責務、扶養義務についてのご説明と、法テラスホットラインをご紹介いただきました。</p>			
			
		担当	海野

会議名	2022伊豆健康フォーラム		
日時	2022/10/29	場所	長岡総合会館「アクシスカつらぎ」大ホール
参加者	207名	会場参加207名 オンライン参加107端末	
内容	「みんなで支える在宅医療」 ～住みなれた我が家で安心して療養したい～		
<p>伊豆保健医療センター主催の伊豆健康フォーラムが3年ぶりに開催されました。第1部では、伊豆保健医療センター地域ケア部長 北澤彰浩医師による「伊豆保健医療センターの在宅医療」と題した講演が行われました。北澤医師のこれまでのご経験や伊豆の国市・田方地域で取り組まれる在宅医療のことなどお伺いできた素晴らしい講演でした。第2部では、「希望する人生をまっとうするために」と題するパネルディスカッションが、中野長岡包括支援センター長、訪問看護ステーションあおぞら・山口部長、モロイ社協居宅介護管理書、患者ご家族・牧野様、伊豆保・清水医師をパネリストに行われました。会場参加者からの在宅医療に対する質問にもご回答されました。</p>			
		担当	杉山



11月は児童虐待防止推進月間です!

【オレンジリボン運動とは】

子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで子どもの虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。オレンジリボン運動を通して子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。

親子や家庭を地域全体で見守り、育む地域づくりをしていきたいですね。

【児童虐待防止月間における取組】

11月は、「オレンジリボンキャンペーン月間」（児童虐待防止推進月間）です。児童虐待防止への意識の高揚・定着を図ると共に、自主的な児童虐待防止活動を促進するため、伊豆の国市では子どもを虐待から守ろう!というメッセージを込め、葦山反射炉のオレンジライトアップを行います。

期間：11/22～11/30

※女性に対する暴力をなくす運動として葦山反射炉では、パープルライトアップも行われます。

期間：11/15～11/21

【児童相談所全国共通ダイヤル】

「もしかして?」ためらわないで!189(いちはやく) (令和4年度標語)

虐待かも?と思った時は0120-189-783(いちはやくおなやみ)をダイヤルしてください。

